



機械受注統計調査報告

Machinery Orders

平成 29 年 7 月 実績

July 2017



平成 29 年 9 月

September 2017

内閣府経済社会総合研究所

景気統計部

Department of Business Statistics
Economic and Social Research Institute
Cabinet Office, Government of Japan

目 次

2017（平成29）年7月の機械受注動向	
(1) 需要者別受注動向（季節調整値）	1
(2) 民需の業種別受注動向（季節調整値）	1
(3) 販売額、受注残高、手持月数（季節調整値）	1
<参考1> 需要者別の機械受注動向（原数値）	6
<参考2> 機種別の受注額、販売額、受注残高（原数値）	6
統 計 表	8

（ 調 査 の 概 要 ）

本調査は、機械等製造業者の受注した設備用機械類について、毎月の受注実績を調査したものであり、調査対象は主要機械等製造業者、調査時点は毎月末日である。

1987（昭和62）年4月実績より、調査対象社数を202社（うち機械製造業者178社）から308社（同280社）に増加させるとともに、調査内容を拡充した280社ベースの調査に移行した。

2011（平成23）年4月調査より、日本標準産業分類の改定（2007（平成19）年11月）に準拠して、需要者（業種）分類を変更した。表章については、2016（平成28）年1月調査より、従来の移行期表章分類から変更後の調査票分類へと移行した（巻末の対照表を参照）。

（ 使 用 上 の 注 意 ）

- 1989（平成元）年4月調査の実績額から、すべて消費税を除くベースで調査している。
- 本調査は、毎年1月調査の時点で季節調整系列の改訂を行っている。季節調整方法は、X-12-ARIMAの中のX-11を使用している。ただし、主要系列（受注総額、民需、民需（船舶・電力を除く）、製造業、非製造業、非製造業（船舶・電力を除く）、官公需、外需、代理店）については、RegARIMAを利用した季節調整を検討し、適用している（詳細は巻末を参照）。
- 統計表の増加率は比較される二つの計数の増（減）分を前期（前年同期）の計数で機械的に除したものである。
- 「携帯電話」については2005（平成17）年度より調査を行ってきたため、2004（平成16）年度以前については、「携帯電話」を除いた系列を計算することはできない。このため、2011年4月調査以降、本調査は2005年度開始となる。
- 業種分類及び機種分類の定義は、本調査HPを参照。
http://www.esri.cao.go.jp/jp/stat/juchu/menu_juchu.html
- 2017（平成29）年6月調査より、機種分類の表章を一部変更した（「電子計算機」と「半導体製造装置」を統合し、「電子計算機等」とした）。

2017（平成29）年7月の機械受注動向

(1) 需要者別受注動向（季節調整値） [第1表及び第1・2図参照]

最近の機械受注の動向を前月比で見ると、受注総額は、6月2.1%増の後、7月は4.9%増となった。

需要者別にみると、民需は、6月4.4%増の後、7月は1.1%増となった。このうち、民間設備投資の先行指標である「船舶・電力を除く民需」は、6月1.9%減の後、7月は8.0%増となった。内訳をみると製造業が2.9%増、非製造業（船舶・電力を除く）が4.8%増であった。

一方、官公需は、6月50.1%増の後、7月は防衛省、地方公務で増加したものの、「その他官公需」、国家公務等で減少したことから、3.3%減となった。

また、外需は、6月3.1%減の後、7月は産業機械、原動機等で減少したものの、電子・通信機械、鉄道車両等で増加したことから、9.1%増となった。

なお、最終需要者が不明である代理店経由の受注は、6月3.6%増の後、7月は道路車両、産業機械等で増加したものの、重電機、電子・通信機械等で減少したことから、0.6%減となった。

(2) 民需の業種別受注動向（季節調整値） [第2表参照]

製造業からの受注を前月比で見ると、合計では、6月5.4%減の後、7月は2.9%増となった。

7月の受注を業種別にみると、前月比で増加したのは17業種中、非鉄金属（189.7%増）、造船業（57.2%増）等の8業種で、繊維工業（79.2%減）、石油製品・石炭製品（47.3%減）等の9業種は減少となった。

一方、非製造業からの受注を前月比で見ると、合計では、6月6.3%増の後、7月は1.7%増となった。

7月の受注を業種別にみると、前月比で増加したのは12業種中、運輸業・郵便業（64.9%増）、リース業（20.3%増）等の5業種で、電力業（28.2%減）、不動産業（21.5%減）等の7業種は減少となった。

(3) 販売額、受注残高、手持月数（季節調整値） [第3図参照]

7月の販売額は2兆2,325億円（前月比4.6%減）で、前3か月平均販売額は2兆2,994億円（同1.0%減）となり、受注残高は29兆6,259億円（同0.7%増）となった。この結果、手持月数は12.9か月となり、前月差で0.2か月増加した。

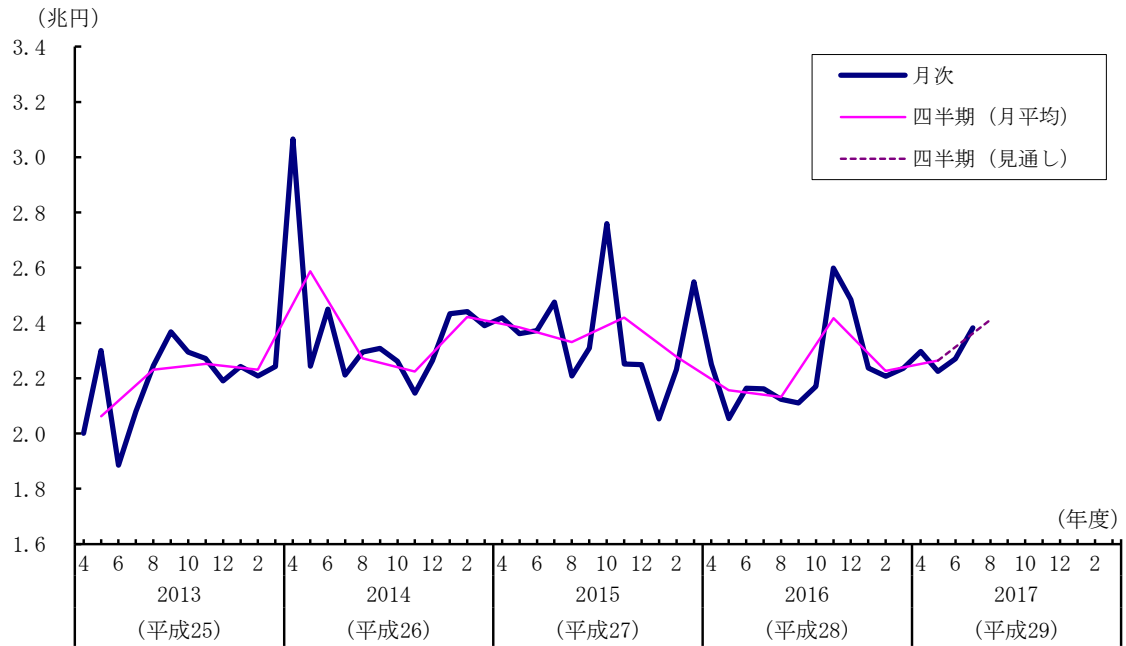
第1表 主要需要者別機械受注額

(単位：億円，%)

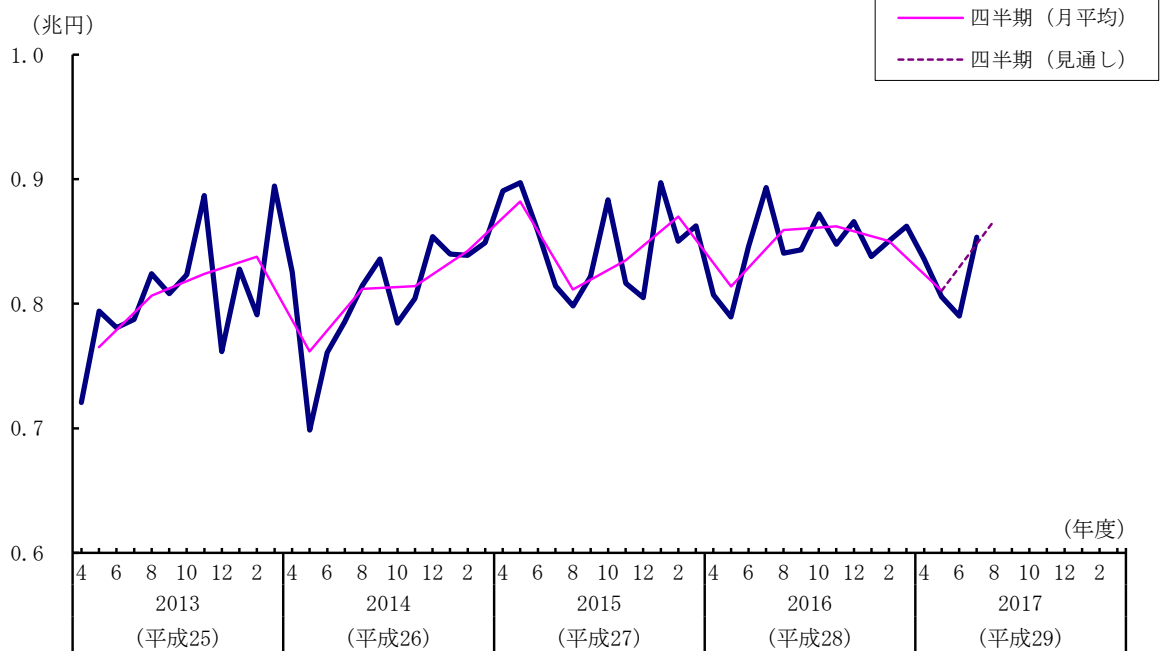
期・月 需要者	2016年 (平成28年)		2017年 (平成29年)		2017年 (平成29年)			
	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	4月	5月	6月	7月
受注総額	63,964 (-1.1) [-9.0]	72,530 (13.4) [0.8]	66,798 (-7.9) [-4.7]	67,918 (1.7) [4.6]	22,966 (2.7) [2.0]	22,246 (-3.1) [8.2]	22,706 (2.1) [4.3]	23,822 (4.9) [10.2]
民需	30,395 (2.5) [0.9]	33,701 (10.9) [7.3]	28,841 (-14.4) [-12.1]	28,588 (-0.9) [-2.7]	9,287 (1.4) [-2.4]	9,442 (1.7) [-2.6]	9,859 (4.4) [-3.0]	9,972 (1.1) [-2.9]
〃 (船舶・電力を除く)	25,771 (5.5) [6.5]	25,859 (0.3) [3.6]	25,507 (-1.4) [-1.0]	24,314 (-4.7) [-1.0]	8,359 (-3.1) [2.7]	8,055 (-3.6) [0.6]	7,900 (-1.9) [-5.2]	8,533 (8.0) [-7.5]
製造業	10,520 (1.9) [-0.5]	10,800 (2.7) [3.5]	10,346 (-4.2) [-6.8]	10,733 (3.7) [3.5]	3,618 (2.5) [9.8]	3,656 (1.0) [6.3]	3,458 (-5.4) [-3.2]	3,557 (2.9) [-1.8]
非製造業 (船舶・電力を除く)	15,353 (6.2) [11.8]	15,202 (-1.0) [3.3]	15,206 (0.0) [3.1]	13,696 (-9.9) [-4.5]	4,715 (-5.0) [-2.1]	4,473 (-5.1) [-4.0]	4,508 (0.8) [-6.9]	4,723 (4.8) [-12.3]
官公需	7,610 (8.3) [-6.4]	8,639 (13.5) [37.8]	8,475 (-1.9) [-11.4]	6,982 (-17.6) [1.9]	2,365 (-10.3) [1.9]	1,846 (-22.0) [-19.7]	2,771 (50.1) [15.8]	2,678 (-3.3) [-1.6]
外需	23,000 (-8.6) [-21.7]	26,571 (15.5) [-12.9]	25,977 (-2.2) [8.0]	28,470 (9.6) [12.4]	9,932 (17.4) [5.9]	9,414 (-5.2) [25.4]	9,124 (-3.1) [8.9]	9,959 (9.1) [30.1]
代理店	3,533 (7.5) [10.1]	3,529 (-0.1) [4.8]	3,608 (2.2) [2.9]	3,759 (4.2) [13.9]	1,254 (0.8) [10.3]	1,230 (-2.0) [21.1]	1,275 (3.6) [11.6]	1,267 (-0.6) [8.2]

- (備考) 1. 季節調整系列は個別に季節調整を行っているため、需要者別内訳の合計は全体の季節調整値とは一致しない。
2. 四半期は合計額、()内は対前期(月)増減率、[]内は原系列による対前年同期(月)増減率。

第1図 機械受注総額



第2図 民需（船舶・電力を除く）



(備考)

1. 四半期 (月平均) は季節調整済みの月平均値を期央月の位置に表示(例えば7～9月の月平均値は8月の位置に表示)。
2. 「2017年7～9月 (見通し)」の計数は、「見通し調査 (2017年6月末時点)」の季節調整値を3で割った数値。

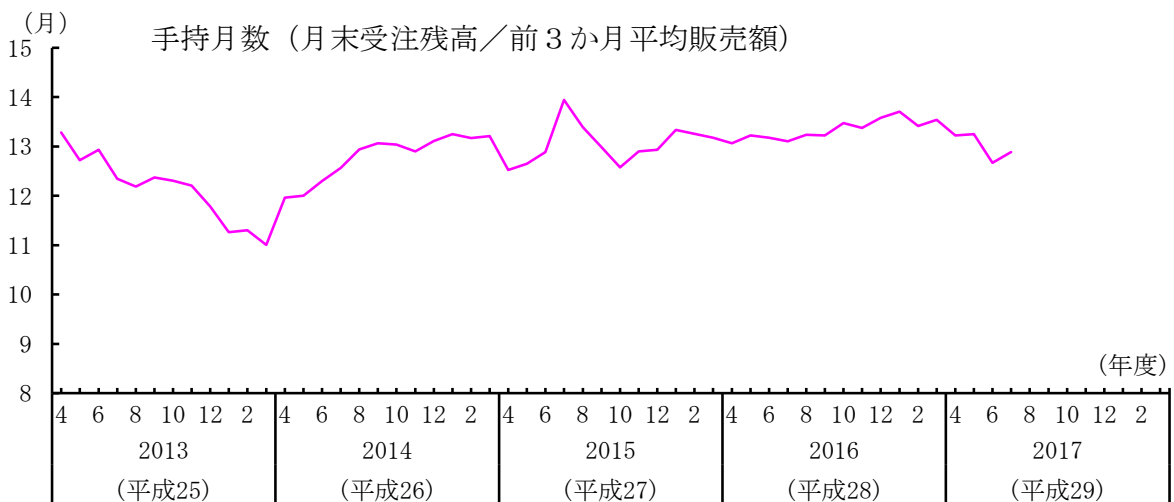
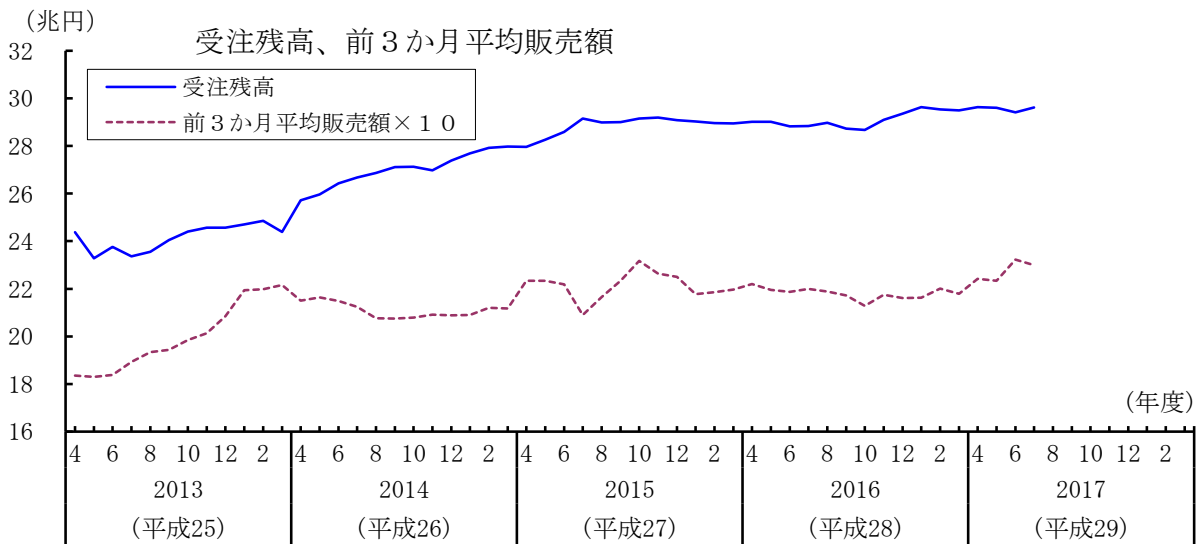
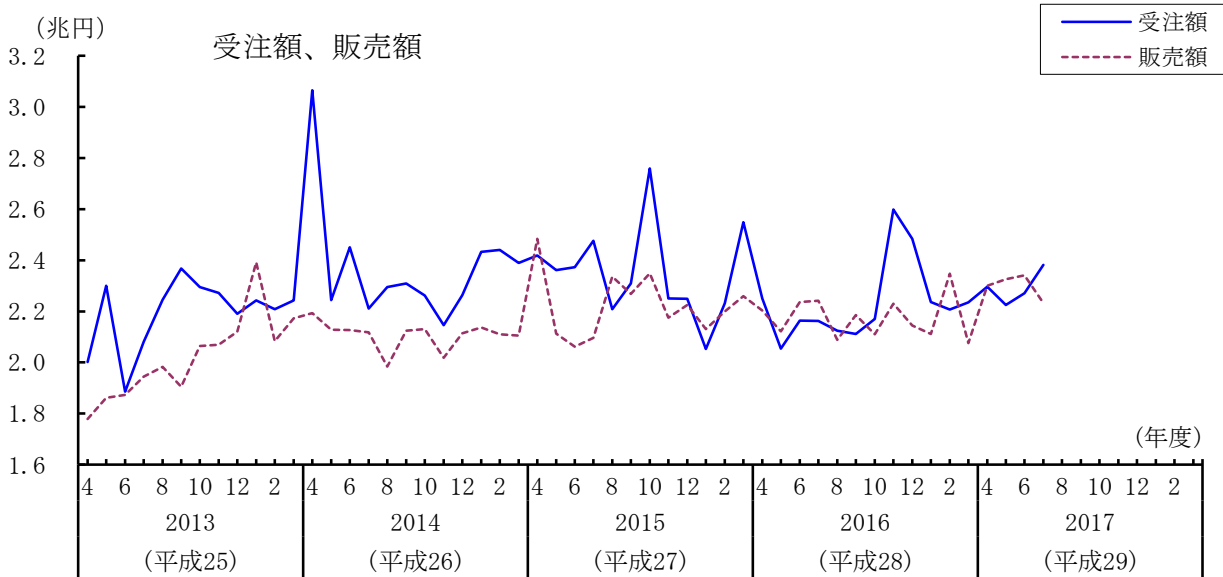
第2表 民需の業種別機械受注の伸び

(単位：%)

需要者	期・月	2016年		2017年		2017年			
		(平成28年) 7～9月	10～12月	(平成29年) 1～3月	4～6月	(平成29年) 4月	5月	6月	7月
I 製造業計		1.9	2.7	-4.2	3.7	2.5	1.0	-5.4	2.9
1 食品製造業		2.3	-10.0	9.4	-9.3	-9.2	-8.1	17.3	5.7
2 繊維工業		-23.2	5.8	41.1	87.3	93.5	-64.8	338.4	-79.2
3 パルプ・紙・紙加工品		-20.9	27.2	96.6	-43.7	3.2	-39.5	186.6	-30.9
4 化学工業		1.6	10.9	-12.8	-5.8	-6.4	8.4	-6.2	1.3
5 石油製品・石炭製品		-44.2	111.0	-64.4	45.0	7.1	88.4	-4.1	-47.3
6 窯業・土石製品		-2.2	62.2	-32.4	1.7	15.2	-36.5	17.6	2.6
7 鉄鋼業		4.7	-6.0	-9.3	10.3	9.0	-8.3	20.1	-39.8
8 非鉄金属		-18.1	131.5	-25.0	-76.4	-91.8	53.6	-33.4	189.7
9 金属製品		53.3	-32.8	17.2	8.9	30.8	-19.5	6.2	-17.0
10 はん用・生産用機械		3.3	-3.2	7.3	11.5	8.8	-8.2	-0.7	-8.6
11 業務用機械		5.6	0.2	-1.1	18.8	18.0	3.3	-12.7	-6.7
12 電気機械		2.4	0.6	7.7	-10.0	25.0	5.8	-4.1	-4.4
13 情報通信機械		0.1	-8.6	5.1	18.1	34.9	17.9	-26.8	18.0
14 自動車・同付属品		2.4	7.7	-5.7	11.4	5.1	-7.4	12.7	0.8
15 造船業		0.9	2.0	-16.9	-23.2	9.2	31.5	-26.6	57.2
16 「その他輸送用機械」		-34.5	-12.9	-7.8	5.1	44.6	-18.5	14.0	-1.2
17 「その他製造業」		4.8	-5.7	9.1	15.1	15.7	12.5	-14.1	6.7
II 非製造業計		1.9	16.8	-14.9	-8.5	-4.9	3.8	6.3	1.7
18 農林漁業		-3.6	16.7	-18.7	27.6	31.8	-2.0	-6.8	-4.2
19 鉱業・採石業・砂利採取業		-6.3	16.7	-7.8	-4.8	-22.2	-4.2	-4.9	13.8
20 建設業		4.1	9.8	17.1	-29.0	-31.8	-25.3	1.9	10.1
21 電力業		-23.6	121.0	-45.2	-0.1	5.8	33.6	3.9	-28.2
22 運輸業・郵便業		18.8	-20.9	-15.4	-12.1	10.7	-21.7	14.1	64.9
23 通信業		18.8	-1.6	-12.3	0.7	8.2	-29.5	28.8	-21.0
24 卸売業・小売業		22.1	-11.7	-21.2	20.4	0.4	13.4	5.4	-6.5
25 金融業・保険業		-0.0	-10.4	30.3	-19.3	-38.5	59.2	3.7	-7.4
26 不動産業		-18.2	4.0	55.4	-42.4	-51.3	22.2	11.6	-21.5
27 情報サービス業		1.9	-3.1	14.3	-11.4	-7.1	2.6	0.8	7.8
28 リース業		24.1	-8.4	9.9	5.6	14.5	-19.5	-21.1	20.3
29 「その他非製造業」		-3.0	19.3	10.3	-21.1	-18.5	1.2	16.0	-23.2

- (備考) 1. 季節調整系列の対前期(月)増減率。
 2. 「繊維工業」、「窯業・土石製品」は、従来は「その他製造業」に含まれていた。
 3. 「はん用・生産用機械」は、従来の「一般機械」から「事務・サービス・娯楽用機械」を除いたもの。
 4. 「業務用機械」は、従来の「精密機械」に「一般機械」の「事務・サービス・娯楽用機械」を加えたもの。

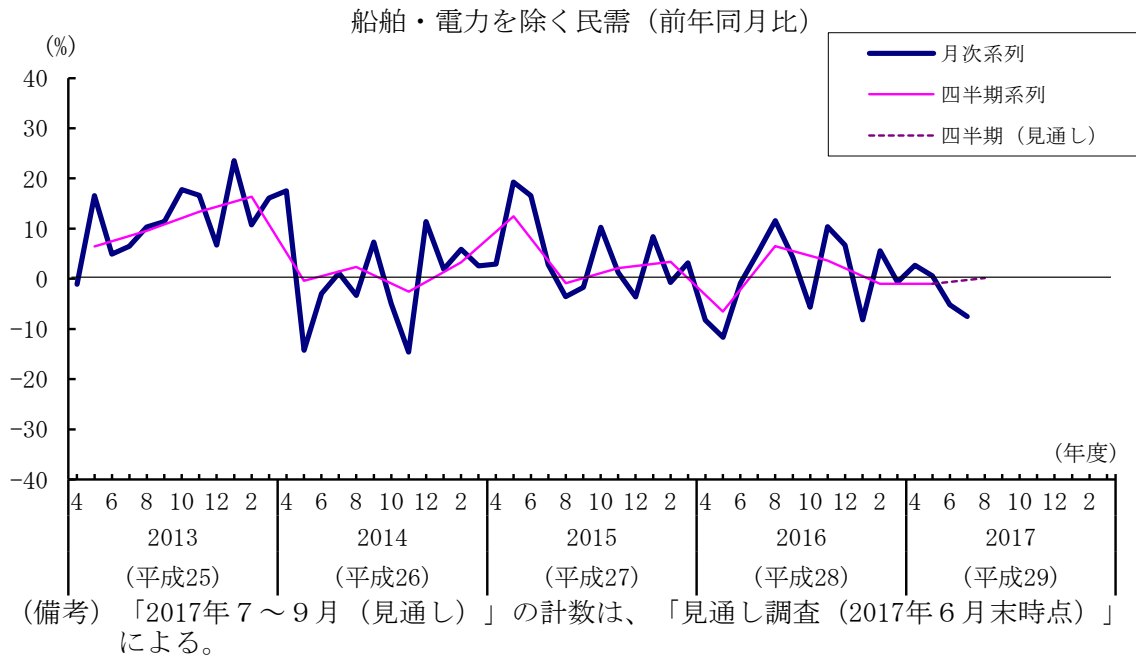
第3図 受注額、販売額、受注残高、手持月数
(総額、季節調整値)



<参考1> 需要者別の機械受注動向（原数値）

7月の受注総額は、2兆425億円の前年同月比10.2%増となった。

第4図 機械受注額の動向



需要者別にみると、民需は8,271億円で前年同月比2.9%減（船舶・電力を除くと同7.5%減）、官公需は1,926億円で同1.6%減、外需は8,956億円で同30.1%増、また、代理店は1,273億円で同8.2%増となった。

民需のうち、製造業からの受注は、前年同月比1.8%減となった。これを業種別にみると、前年同月比で増加したのは17業種中、非鉄金属（90.3%増）、パルプ・紙・紙加工品（47.7%増）等の8業種で、鉄鋼業（55.2%減）、金属製品（54.5%減）等の9業種は減少となった。

一方、非製造業からの受注は、前年同月比3.6%減となった。これを業種別にみると、前年同月比で増加したのは12業種中、情報サービス業（9.8%増）、リース業（8.8%増）等の6業種で、通信業（39.8%減）、不動産業（20.3%減）等の6業種は減少となった。

<参考2> 機種別の受注額、販売額、受注残高（原数値）

1. 機種別

(1) 受注額

7月の受注額を機種別に前年同月比で見ると、航空機（73.5%増）、工作機械（34.2%増）等で増加となった。反面、重電機（8.3%減）、鉄道車両（5.2%減）で減少となった。この結果、合計では前年同月比10.2%増となった。

また、民需からの受注額を機種別に前年同月比で見ると、船舶（995.0%増）、工作機械（12.1%増）等で増加となった。反面、航空機（65.4%減）、鉄道車両（58.4%減）等で減少となった。この結果、合計では前年同月比2.9%減となった。

第3表 民需の機種別機械受注の伸び

(単位：%)

	2016年 (平成28年) 7～9月	10～12月	2017年 (平成29年) 1～3月	4～6月	2017年 (平成29年) 4月	5月	6月	7月
民 需 総 額	0.9	7.3	-12.1	-2.7	-2.4	-2.6	-3.0	-2.9
原 動 機	-32.6	50.3	-40.0	-16.1	-40.4	-5.8	1.1	-7.4
重 電 機	-25.7	12.2	-29.5	-15.7	-17.4	-33.0	9.1	-14.3
電子・通信機械	-2.2	-5.9	-0.3	6.3	3.9	5.8	8.9	0.4
産 業 機 械	11.0	16.0	11.0	9.1	12.1	7.7	7.6	-4.5
工 作 機 械	-14.2	-3.2	-0.3	15.7	24.4	25.0	2.2	12.1
鉄 道 車 両	222.0	0.1	15.0	-54.3	-30.7	-28.9	-77.4	-58.4
道 路 車 両	27.7	57.6	13.6	0.4	0.6	-0.3	1.0	10.4
航 空 機	-9.2	-56.4	-10.6	-63.7	13.4	-30.6	-79.9	-65.4
船 舶	129.6	-55.4	-60.1	-61.1	-57.9	-88.0	-24.7	995.0

(2) 販売額

7月の販売額を機種別に前年同月比で見ると、工作機械（22.7%増）、道路車両（14.3%増）等で増加となった。反面、航空機（28.8%減）、鉄道車両（20.9%減）等で減少となった。この結果、合計では前年同月比0.5%減となった。

(3) 受注残高

7月の受注残高を機種別に前年同月比で見ると、工作機械（12.5%増）、産業機械（9.6%増）等で増加となった。反面、船舶（19.4%減）、航空機（2.4%減）で減少となった。この結果、合計では前年同月比2.8%増となった。

2. 鉄構物、軸受、電線・ケーブル

(1) 鉄構物

7月の受注額は、304億円で前年同月比84.4%増、販売額は、178億円で同32.7%増、受注残高は、4,936億円で同13.2%増となった。

(2) 軸受

7月の受注額は、579億円で前年同月比13.1%増、販売額は、585億円で同11.0%増、受注残高は、869億円で同12.1%増となった。

(3) 電線・ケーブル

7月の受注額は、1,029億円で前年同月比12.1%増、販売額は、1,006億円で同11.8%増、受注残高は、1,398億円で同46.6%増となった。

機 械 受 注 実 績 調 査 統 計 表
目 次

[グ ラ フ]

第 1 図	主要需要者別受注額 -----	9
第 2 図	主要業種別受注額 -----	12
第 3 図	主要機種別受注額 -----	17

[計 数 表]

	需要者別受注額（季節調整系列） -----	18
	機種別受注残高手持月数（ 〃 ） -----	23
	需要者別受注額（原系列） -----	24
	機種別受注額（ 〃 ） -----	29
	機種別販売額（ 〃 ） -----	33
	機種別受注残高（ 〃 ） -----	37
	機械受注統計調査結果表（2017年7月実績） -----	41

(別紙)

	需要者（業種）分類の表章変更 -----	45
--	----------------------	----

(巻末)

	季節調整の検討結果 -----	46
--	-----------------	----